

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名	実施時期	曜日	時限	授業時間	定員
基礎物理実験	前期	木	1・2	1時限 9:10～10:50 2時限 10:55～12:35 3時限 13:20～15:00 4時限 15:05～16:45 5時限 16:50～18:30	若干名
知覚心理学		月	3		
心理学概論 I		木	2		
犯罪心理学		木	2		
機械工学概論		木	4		
仏教の歴史と思想		火	1		
宇宙の科学		金	3		
生活の科学		木	3		
生態環境科学		木	1		

※各科目とも授業は14回の予定です。

※授業は4月10日(月)から開始します。

(2) 場所

埼玉工業大学 埼玉県深谷市善済寺1690

JR 高崎線岡部駅下車無料スクールバス乗車又は徒歩(15分)

自家用車による通学可(駐車場無料)

各地区からの無料スクールバス案内 <http://www.sit.ac.jp/access/index.html>



関越道利用の場合

関越道花園インター(熊谷・深谷方面)出口から国道140号線バイパスを直進し(3.7km・約6分)大きな交差点(大学の看板あり)を左折します。道なりに直進(5.0km・約7分)。5つ目の交差点(大学の看板あり)を右折し直進(2.0km・約2分)してください。およそ大学まで17分程度で到着します。

2 受講料等

- (1) 受講料 1科目(半期)につき10,000円。
- (2) その他 教科書等の教材は自己負担でご用意いただきます。
- (3) 一旦納入された受講料は、お返しできないのでご注意ください。

3 受講の申込み

- (1) 申込期限 平成29年3月15日(水)(消印有効)

- (2) 申込先

〒369-0293

埼玉県深谷市普濟寺1690

埼玉工業大学 教務課リカレント係

電話 : 048-585-6813

FAX : 048-585-5939

E-mail : kyomu@sit.ac.jp

- (3) 申込方法

官製ハガキ、FAX、又は、E-mailによりお申し込みください。

また、以下の事項をもれなく御記入ください。

- ①住所
- ②氏名(フリガナ)
- ③年齢(平成29年4月1日現在)
- ④電話番号
- ⑤受講希望科目(何科目でも可)

- (4) 選抜方法

定員を超える申込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。

4 各授業科目の担当教員及び概要

NO	科目名	担当教員名	概要
1	基礎物理実験	基礎教育センター 松田智裕 准教授 (2724 教室)	基礎物理実験は、基礎知識に関する講義と10種類の物理実験によって構成されている。工学の様々な分野で応用されている物理現象の中から特に重要なものを選び、その仕組みを直感的に理解することが出来るように各実験が構成されている。必要とされる予備知識は高校程度の数学のみで、物理に関してはその都度教員から説明がある。様々な状況での実験結果の基本的な取り扱いが習得できる。
2	知覚心理学	心理学科 曾我重司 教授 (3013 教室)	知覚心理学は、ヒトを含む有機体が、その生きている世界の認識をする有り様を記述し整理する学問である。本講義においては、さまざまな認識のあり方がどのようなものであるかを知らしめてくれる様々な知覚現象を知り、客観的な手法で、それらをどのように記述していくかを考える。
3	心理学概論 I	心理学科 曾我重司 教授 (3012 教室)	心理学概論 I では、心理学を学習・研究する上で不可欠な基礎知識を身につけてもらう。心理学とは何か、知覚、学習、記憶、動機づけ、感情、認知、言語、思考、社会的行動など主に実験に基づいた基礎的な心理学の分野について説明をする。心理学の研究方法の多様性と人間の心理について理解を深めることを目的としている。
4	犯罪心理学	心理学科 小野広明 教授 (3013 教室)	犯罪の心理、原因、対策について、矯正施設における犯罪・非行臨床の実務経験を踏まえて講義する。

5	機械工学概論	<p>機械工学科 長谷亜蘭 講師 (611 教室)</p>	<p>“機械”と一言でいっても、機械の中にはとても多くの技術が詰まっている。その技術分野も力学、材料、機械要素、熱・流体、設計製図、ものづくり、計測・制御、電気・電子などと幅広い。これから機械工学科の専門科目を学習していくうえで、この機械工学概論で学習する各分野の幅広い基礎知識はとても有用である。本科目では、機械工学科で専門分野を学ぶ前段階として、各分野の基礎のきそについてわかりやすく解説する。</p>
6	仏教の歴史と思想	<p>情報社会学科 宮井里佳 教授 (3013 教室)</p>	<p>インドにおいてどのように仏教が生まれ、発展したのか。そして異文化の中国や日本などに伝来し、どのように変化して受容されたのか。本講義では、インドから日本の仏教思想史を概観する。</p>
7	宇宙の科学	<p>情報社会学科 高橋広治 教授 (3013 教室)</p>	<p>宇宙の構造と進化を科学的に理解することを目標として、宇宙科学諸分野における重要事項を系統的に解説する。具体的には、太陽系から出発して、恒星の世界、銀河の世界、そして宇宙全体の歴史と進化へと話を進める。主に文科系の学生を対象とする。</p>
8	生活の科学	<p>生命環境化学科 長谷部靖 教授 鎌田智之 講師 松浦宏昭 准教授 (2622 教室)</p>	<p>我々の生活は、さまざまな科学技術の進歩により支えられてきた。しかし、近年では、地球環境・生活環境・社会情勢の変化により、さまざまな問題点も浮かび上がってきた。本講義では、快適な生活をおくるための健康科学、身近な生活の中での炭素材料に着目した科学技術、環境・エネルギー問題と次世代新型エネルギーに焦点をあて、身近な生活環境を科学的視点から捉えられる素養を身に着けることを目的とする。</p>
9	生態環境科学	<p>生命環境化学科 秋田祐介 講師 秦田勇二 教授 本郷照久 准教授 (2631 教室)</p>	<p>本講義では、陸上や海洋といった生態環境に関する問題や利用方法を各論的に紹介し、生態環境の改善にむけた科学的アプローチについて考察する。第1部では、主に陸上植物の生態やその利用例について紹介する。第2部では、海洋の生態やその利用法について解説する。第3部では、バイオマスの利用法など、環境の負担軽減にむけた研究について解説する。</p>